

平成23年度下半期 財政状況の公表

区では、区民の皆さんに区の財政状況を年2回公表しています。今回は、平成23年度下半期の財政状況をお知らせします。

【問合せ】財政担当 ☎5608 - 6232

*各表中の数値は、四捨五入により合計額が合わない場合があります。

厳しい財政状況の中、計画どおりに事業を執行

平成23年度下半期は、景気の緩やかな持ち直し傾向が見られたものの、区内では中小零細事業所を中心として景気低迷の影響が続き、歳入の柱となる特別区民税が前年度と比べ減収となるなど、厳しい歳入状況となりました。

こうした中、23年12月には「墨田区基本計画」を改定するとともに、

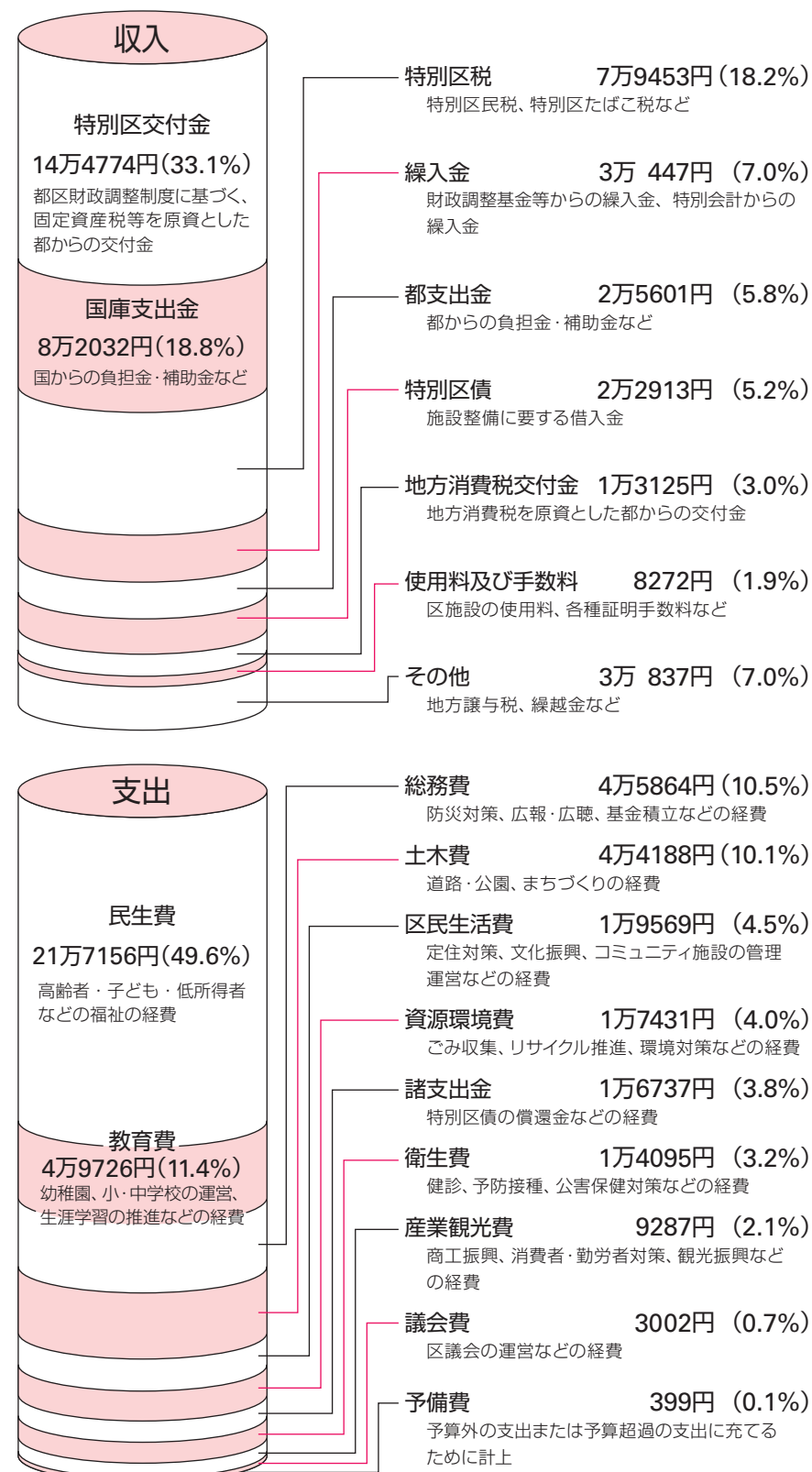
東日本大震災を教訓とした防災対策をはじめ、緊急経済・雇用対策、保育園の待機児解消対策、高齢者見守り対策や、東京スカイツリー®の開業を見据えた関連施策など、緊急性・優先性の高い事業に積極的に取り組みました。

また、予防接種費等を補正予算で対応したうえで、予算に計上した事務事業を計画的・効果的に執行することができました。

23年度 区民1人あたりの予算額(一般会計)

1人あたり 43万7454円

一般会計予算額 1096億5924万円 24年4月1日現在の人口 25万 676人



①収入・支出ともに()内の数字は、一般会計予算額に占める比率です。
②一般会計予算額のうち、人件費は209億2763万円(区民1人あたり8万3485円)です。

予算の状況

【一般会計】23年10月1日以降、下表の補正を行った結果、最終予算額は1096億5924万円となりました。

【特別会計】当初予算に必要な補正を行うことにより、最終予算額は、国民健康保険特別会計が297億6671万円、介護保険特別会計が151億3626万円、後期高齢者医療特別会計が43億9123万円となりました。

23年度一般会計予算の主な補正予算

12月補正…15億1893万円の追加	3月補正…18億7200万円の減額
▶財政調整基金積立金追加	▶財政調整基金積立金追加
▶安全・安心まちづくり推進事業費追加	▶減債基金積立金追加
▶地球温暖化対策助成事業費追加	▶公共施設整備基金積立金追加
▶東日本大震災被災者支援事業費	▶文化観光基金積立金追加
▶心身障害者自立支援給付事業費追加	▶すみだ北斎美術館資料取得費追加
▶生活保護扶助費追加	▶特別養護老人ホーム等建設用地整備事業費追加
▶予防接種費追加	▶介護保険特別会計繰入金追加
▶給与改定に伴う人件費の減額	▶職員退職手当追加
▶過年度国庫支出金等返還金追加 等	▶すみだ北斎美術館建設事業費の減額
	▶各種事務事業の不用経費の減額 等

収入・支出の概況

24年3月31日現在の23年度各会計の予算現額と収支の状況は、下表のとおりです。一般会計の予算現額に対する執行率は、歳入が84.0%、歳出が82.6%となっています。

なお、事務処理手続等の都合で3月末日までに執行できなかったものについては、出納整理期間(4月1日～5月31日)中に執行しました。

23年度予算の収支の状況(24年3月31日現在)

区分	予算現額	収入額	支出額
一般会計	1104億1369万円	926億9886万円(84.0%)	912億 891万円(82.6%)
国民健康保険特別会計	297億6671万円	268億2042万円(90.1%)	256億8217万円(86.3%)
介護保険特別会計	151億3626万円	142億9402万円(94.4%)	137億2392万円(90.7%)
後期高齢者医療特別会計	43億9123万円	43億1222万円(98.2%)	42億3476万円(96.4%)

①予算現額とは、最終予算額に22年度からの繰越分を加えたものです。22年度からの繰越分は、一般会計で7億5445万円ありました。
②収入額・支出額欄の()内の数字は、それぞれ予算現額に対する割合です。
③各会計の収入・支出ともに出納整理期間(4月1日～5月31日)中に執行・整理を行い、いずれも予算計上額をほぼ達成しています。

区民負担の概況

区の施策を実施するために必要な財源として、区民の皆さんに税や各種使用料、手数料を負担していただいています。このうち、特別区税の予算現額と収入額は下表のとおりです。

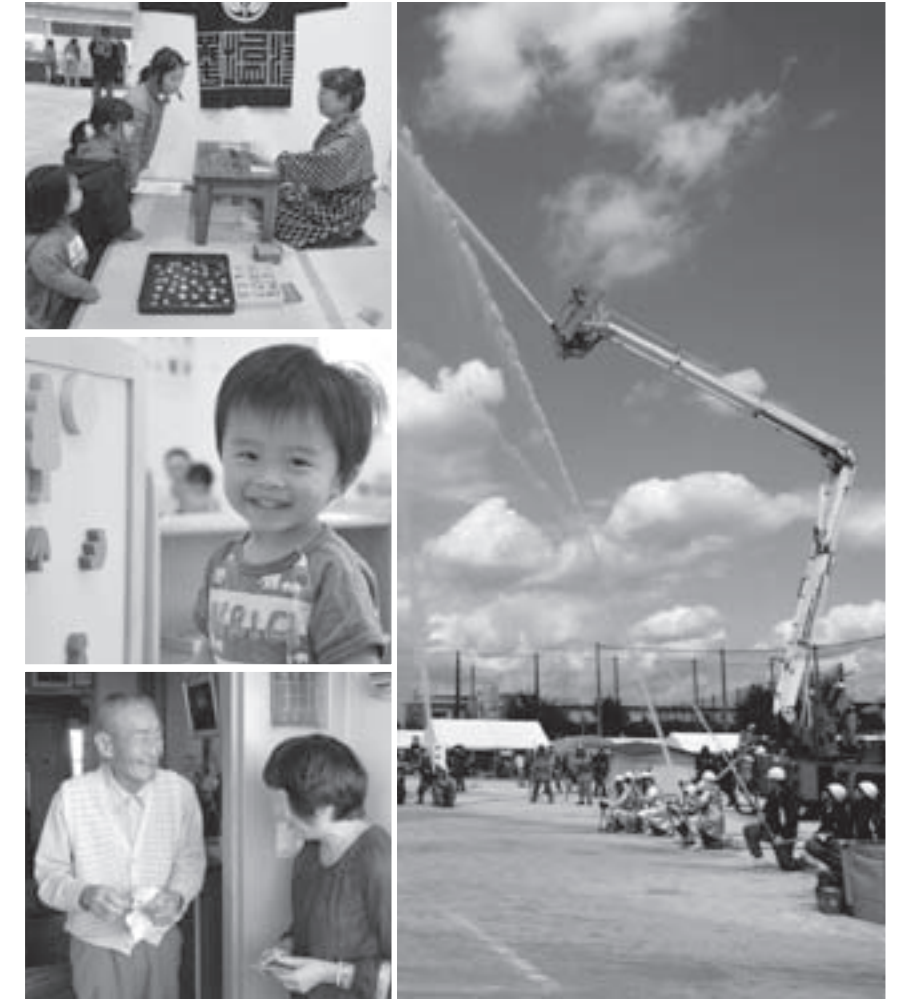
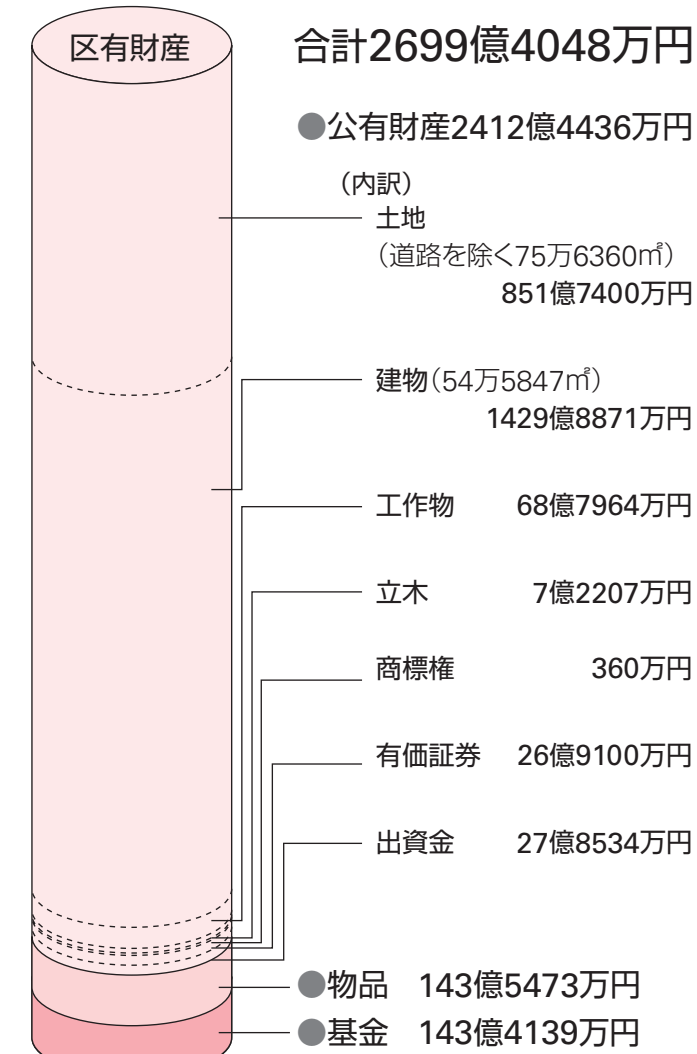
23年度特別区税の予算現額と収入額(24年3月31日現在)

内訳	予算現額	収入額	収入率
特別区民税	176億1900万円	156億6500万円	88.9%
軽自動車税	7300万円	7691万円	105.4%
特別区たばこ税	22億1600万円	20億6936万円	93.4%
入湯税	900万円	1216万円	135.1%
合計	199億1700万円	178億2343万円	89.5%

④上記の収入額に加え、出納整理期間(4月1日～5月31日)中にも収入がありました。

区有財産の現在高

24年3月31日現在の区有財産の現在高は、下のグラフのとおりです。



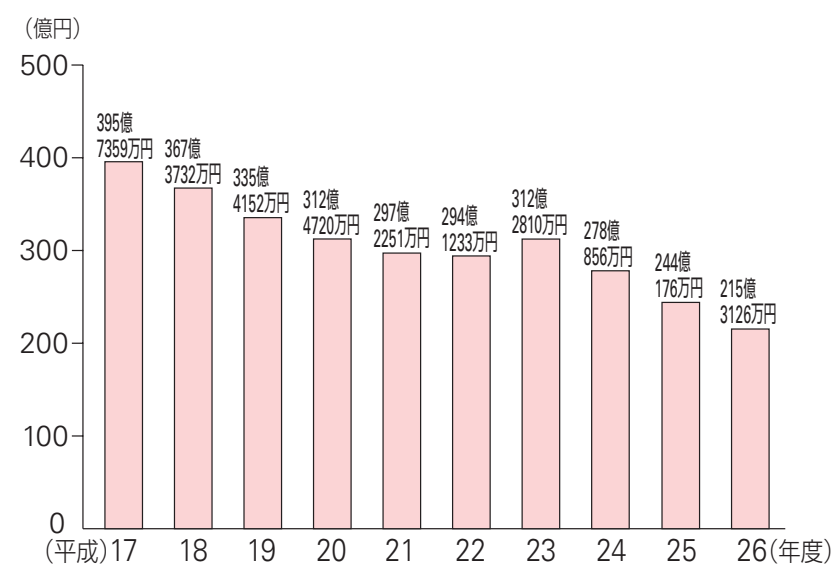
一時借入金

一時借入金とは、収入と支出の時期の違いにより、事務事業を執行するうえで一時的に資金が不足する場合に、年度内償還を条件として市中銀行などから借り入れる資金のことです。区は23年度中、この借入れを行う必要がありませんでした。

公債の発行残高

学校施設の改築や、まちづくり事業などの公共施設の整備には、多額の経費がかかります。区は、こうした財源を確保し、現在から将来にわたる区民の皆さんの世代間の負担の公平化を図るため、公債(特別区債)を発行しています。

各年度末における公債の残高は、下のグラフのとおりです。



東京スカイツリー開業による効果を最大限区政に活かす

24年度は、「東日本大震災を教訓に、安全で安心して暮らせるまちをめざす」「東京スカイツリーを中心に、多数の人々ににぎわう、国際観光都市すみだをめざす」「子育て環境が整備され、高齢者を地域で見守るまちをめざす」という、墨田区基本計画に掲げる3つのリーディングプロジェクトの実現に向けて、予算に計上した事業に積極的に取り組んでいます。このほかにも、緊急経済・雇用対策、公共施設の耐震化などにも可能な限り取り組んでいます。

また、「墨田区協治(ガバナンス)推進条例」の趣旨を踏まえ、「情報の共有・参加・協働」の具現化に向けた取組を進めるとともに、将来にわたる行政需要に的確に対応できるよう、行財政改革を積極的に推進しています。

東京スカイツリーの開業を千載一

